

ゼリア新薬工業株式会社

第48期
事業報告書

平成13年4月1日～平成14年3月31日

証券コード：4559



ゼリア新薬

Z E R I A



株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第48期の事業概況に関しまして、
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊部幸顕

C O N T E N T S

トップインタビュー	p.1
研究開発	p.4
トピックス	p.5
財務諸表(連結).....	p.6
財務諸表(単体).....	p.8
連結財務ハイライト	p.10
会社情報	p.11
株式情報	p.12
株主メモ	p.13

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ / 企業理念



トップインタビュー

Q

当期の業績についてご説明ください。

A 当期においても依然として国内経済は低迷し、個人消費の伸び悩み、生産・設備投資の減少、さらに失業率の上昇やデフレの進行など景気の悪化が続く厳しい情勢となりました。医薬品業界では、構造改革の一環として医療保険制度の抜本的改革の議論が進められる一方で、外資系企業による国内への攻勢など医療用医薬品市場を取り巻く環境は一段と厳しい状況となりました。また、ヘルスケア市場においては、小売・流通業界の淘汰や再編が進み、競争の激化をもたらしています。

このような厳しい市場環境の中、当社グループは企業体質の強化に努めてまいりましたが、連結売上高は538億37百万円(前期比3.5%減)となりました。

利益面につきましては、連結経常利益は39億24百万円(前期比38.7%減)、連結当期純利益は14億49百万円(前期比6.1%増)となりました。来期以降、激変する市場環境に柔軟な戦略で臨み、企業体質の改善・強化を推し進めながら業績の向上に全力を尽くす所存です。

Q

事業部門別状況についてはいかがですか。

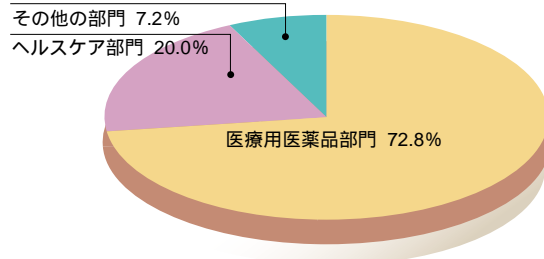
A 医療用医薬品部門では、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上を図り、学術情報活動の一層の充実と重点品目のさらなる市場構築に努めてまいりましたが、苦戦を余儀なくされました。

最重点領域である消化器官用薬について、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は、製品特性を活かしたプロモーション活動により売上高を維持しましたが、H₂受容体拮抗剤「アシノンカプセル」、胃炎・潰瘍治療剤「マーズレン-S顆粒」は、市場競争の激化により減少いたしました。急性心不全治療剤「ハンブ注射用1000」は、大幅に続伸し、高血圧・狭心症治療剤「ランデル錠」、白血球減少抑制剤「アンサ

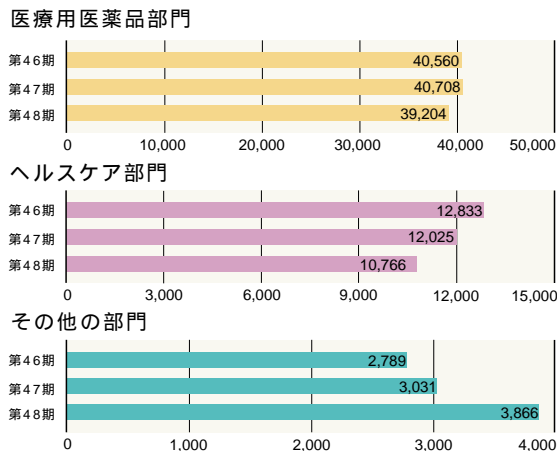
ー20注」も伸長いたしました。しかし、非ステロイド性鎮痛・消炎剤「ペオン錠80」、吸収性局所止血材「アビテン」は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は392億4百万円(前期比3.7%減)となりました。

ヘルスケア部門は、ゼリアフランチャイズストア連盟、薬分量販店、コンビニエンスストアなどの一般販売店を「三本柱」とする販路別展開を基本とし、高齢化の進展を背景とした医療用医薬品の薬剤費抑制策の強化に対応すべく、引き続きセルフプリベンション(予防)を指向した製品群を重点品目と位置付け市場構築に努めてまいりました。

部門別売上高構成(%)



部門別売上高推移(単位:百万円)



ゼリアフランチャイズストア連盟においては、加盟店とのさらなる強固な関係を構築するためにZP会(ゼリアパール会)を設立し、会員向け製品の開発・販売ならびに積極的な支援活動を通じて、質の改善を図るべく再編成を進めてまいりました。薬量販店については、大手ドラッグストアの連携とグループ化に対応しつつ、PB(プライベートブランド)品の提供を含めた積極的な営業展開を行ってまいりました。平成13年3月に発売を開始した医薬部外品ドリンク ローヤルゼリー配合ももの味につきましては、ブランド認知度の向上を目的に積極的な広告を展開しながら、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなどへの販路拡大、市場開拓に取り組んでまいりました。しかし厳しい市場環境の中、ゼリアフランチャイズストア連盟店の売上が落ち込み、部門の業績全体に響き、売上高は107億66百万円(前期比10.5%減)となりました。その他の部門の売上高は、38億66百万円(前期比27.5%増)となりました。



主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(150、75)
	プロマック顆粒15%
	マーズレン-S顆粒
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
	ハンブ注射用1000
血液及び体液用薬	アンサー20注
医療用具	アピテン・シリンジアピテン



主要一般用医薬品等

種別	製品名
滋養強壯剤	ローヤルゼリー散
	ハイゼリー散
	マリオンカルシウム
代謝性用薬	ハイゼリーB
	新ローヤルゼレントB
	ゼリアス(V5、V10)
	新ハイゼリーエース
	新ヘパリーゼプラス
	コンドロイチンZ錠
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
医薬部外品	ローヤルゼリー配合ももの味(販売名:ヘルサンB)
栄養食品	新健康習慣



研究開発についてお聞かせください。

A 現在、国際的に通用する自社オリジナル新薬の創製をめざし、ICH(薬事規制のハーモナイゼーションに関する国際会議)の動向を受けた海外臨床展開を積極的に推進しております。当社期待のオリジナル新薬である消化管運動賦活剤「Z-338」は、欧州でのフェーズaが終了し、この試験結果を踏まえ、共同開発のパートナーの検討とともに次なるステップへと準備を進めてまいりました。

「Z-100(アンサー注)」につきましては、米国においてHIV感染症(後天性免疫不全症候群:エイズ)患者を対象としたパイロットスタディを引き続き推進しております。

また、中央研究所にて創製された新しい作用機序の消化性潰瘍治療剤「Z-360」は、英国でのフェーズ が進行中であります。自社創薬品の閉鎖性動脈硬化治療剤「Z-335」は、国内フェーズ が進行中であり、「アンサー注」の子宮頸癌に対する効能追加のためのフェーズ が順調に進んでおります。

「ペオン錠」に関しては、急性上気道炎効能追加の製造承認申請をいたしました。また、新しい開発品として米国インカン社より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「Z-205」の日本国内における開発の準備を進めております。一般用医薬品では、新製品、PB品を順次上市いたしました。



今、医療環境に 大きな変革の動きが出ていますが...

A 平成14年3月に、健康保険法の改正を含む医療制度改革関連法案が国会に提出されるなど、医療制度の抜本的改革が議論されているのはご承知のことと思います。また、外資系企業の新薬投入の増加や一連の規制緩和の影響等により、わが国の医療環境は現在、大きな変革の時期を迎えております。さらにEBM(根拠に基づく医療)のような、医療の質に関する貢献を求められる時代となってきています。医薬品の承認制度では、国際的なハーモナイゼーションを背景とした海外での臨床開発試験の拡大や市販直後調査の法制化、また製造販売承認制を基本とする薬事法改正も控えております。さらに今後、業界ではゲノム情報をコアとしたベンチャー企業との提携、また製薬企業間のアライアンスも進展するものと考えております。



第5次中期経営計画の 進捗状況についてお聞かせください。

A 平成13年4月にスタートした第5次中期経営計画は、

平成17年度までを見据えたプランで「企業価値向上」を追求し「質を求める経営の徹底」をさらに推進する目的で策定されました。

本計画におきましては、ゲノム創薬による新薬創製を含めた新薬パイプラインの強化、ヘルスケア事業におけるナショナルブランドの育成、また医療用医薬品事業、ヘルスケア事業に次ぐ新規事業の構築を重点課題として掲げ、全社一丸となりその実現に向け取り組んでおります。

特に研究開発では、ゲノム創薬時代に対応すべく、当社100%出資により設立したバイオベンチャー「(株)ジーエスプラッツ」が、テキサス農工大、三重大学、東京工業大学、関西医科大学、ペンシルベニア大学との共同探索研究を進めております。また、平成14年度にスタートする国内研究機関との新規共同プロジェクトにおいても2テーマが確定いたしました。

これらのプロジェクトの研究を初期段階から中央研究所と連携させることによって、国際社会に通用する新薬創出をめざしております。



次期の取り組みについては...

A 医療用医薬品事業では、市場構築のための戦略的強化の一環として医薬情報活動を強化すべく、当社MRに加え、コントラクトMR(契約MR)の活用を進めてまいります。ヘルスケア事業では、超高齢化社会の到来とセルフメディケーションの進展、さらに急激に変化する小売・流通業界に対応してまいります。ゼリアフランチャイズストア連盟においては、ZP会の強化育成を推進するとともに、薬系量販店、コンビニエンスストア等の一般販売店との取引を強化し「三本柱」による販路別展開を継続しながら、ナショナルブランドの育成を並行して進めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当社における新薬のパイプラインは申請中を含め9品目であります。

研究開発の状況

領域	消化器系	その他
申請中	Z-103 (プロマック顆粒) 胃炎	ZC-102 (ペオン錠) 急性上気道炎
フェーズⅢ		Z-100 (アンサー注) 子宮頸癌
フェーズⅡ	Z-338 消化管運動賦活	Z-335 閉塞性動脈硬化症
フェーズⅠ	Z-360 消化性潰瘍	Z-100 (アンサー注) HIV感染症 Z-321 脳血管障害
フェーズⅠ (準備中)	Z-205 大腸内視鏡前腸管洗浄剤	

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。

私たちの業務に対する皆様のご理解をいただきますよう、当社の製品をお試しいただくことにいたしました。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしく願い申し上げます。

実施の方法

毎年9月30日現在及び3月31日現在における所有株式数1,000株(1単元)

以上の株主の皆様に対し、年間2回、当社のバランス栄養食品「新健康習慣」一箱(12,800円相当)を贈呈いたします。

バランス栄養食品「新健康習慣」

当社と森永乳業株式会社が共同開発した、生活習慣病が気になる方に食生活改善を提案する新しいコンセプトの食品です。1食は、クラッカー、スープ(ポタージュ3種類、中華風3種類)と、ラクトフェリン・ビフィズス菌・ラクチュロースを配合した栄養補助サプリメントの組み合わせとなっております。

1食あたり約220kcalに調整されており、2ヶ月を目安に、1日3回の食事のうち1食を「新健康習慣」に置換えると効果的です。



腸管洗浄剤Visicol™の日本における独占契約締結について

当社は、米国インカイン社(InKine Pharmaceutical Company, Inc. 本社米国ペンシルベニア州ブルーベル)と腸管洗浄剤Visicol™の日本国内における独占的開発・製造ならびに販売に関する契約を2001年8月27日付で締結いたしました。同社が開発したVisicol™は、大腸内視鏡前腸管洗浄剤で、これまでの液剤タイプに対し、

唯一の錠剤タイプであり、患者の負担を軽減しコンプライアンスの向上が期待されます。当社は、国内において2005年度申請を目標とし独自に開発、販売してまいります。今回、Visicol™を加えることにより、消化器官領域を最重点分野とする当社の製品ラインアップのさらなる充実が図られ、一層のシェア拡大ができるものと期待しております。



ヘルスケアの再編成

ヘルスケア部門におきましては、ゼリアフランチャイズストア連盟、薬系量販店、コンビニエンスストアなどの一般販売店の「三本柱」による販路別展開を基本とし、営業政策および組織もこれらにスピーディーに対応できるものに変化させております。特に「第一の柱」であります独立経

営の薬局・薬店によるゼリアフランチャイズストア連盟事業においては、加盟店との更なる強固な関係を構築すべくZP会(ゼリアパール会)を設立し、ZP会向け製品の開発・販売、ZP会会員への積極的な支援活動を通して、質の改善に重点を置いた再編成を進めてまいりました。



伊藤忠商事(株)、(株)スーパーレックスへの委託による医薬品の共同配送をスタート

新物流センター所在地

ゼリア新薬工業株式会社 東京物流センター
〒332-0004 埼玉県川口市領家5丁目9番28号
ゼリア新薬工業株式会社 大阪物流センター
〒574-0052 大阪府大東市新田北町54番1号

当社は、1999年1月伊藤忠商事株式会社(本社 東京都港区)、株式会社スーパーレックス(本社 神奈川県相模原市)と医薬品共同配送を前提とした物流業務全面委託に基本合意し同年2月から実施しております。その間、当社の全面的支援により伊藤忠とスーパーレックスが構

築した医薬品物流運営システムが評価され、2002年1月から同業2社が参加して3社による共同配送が開始いたしました。共同配送センターは、関東と関西に拠点2ヶ所を設置し、納品時間の短縮と安定化等、サービス水準向上とさらなる物流コストの低減を目指すものです。

財務諸表(連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度		前連結会計年度	
		平成14年3月31日現在	平成13年3月31日現在	平成14年3月31日現在	平成13年3月31日現在
[資産の部]					
流動資産		34,288	41,168		
現金及び預金		1,894	2,150		
受取手形及び売掛金		23,621	30,247		
有価証券		1,059	835		
たな卸資産		5,746	5,720		
繰延税金資産		558	715		
その他		1,526	1,579		
貸倒引当金		118	79		
固定資産		20,740	21,481		
有形固定資産		15,769	16,007		
建物及び構築物		5,601	5,704		
機械装置及び運搬具		703	795		
土地		9,184	9,184		
その他		280	322		
無形固定資産		201	183		
投資その他の資産		4,769	5,291		
投資有価証券		1,583	2,311		
繰延税金資産		1,759	1,703		
その他		1,553	1,361		
貸倒引当金		126	85		
資産合計		55,029	62,650		
[負債の部]					
流動負債		20,599	28,035		
支払手形及び買掛金		8,143	8,931		
短期借入金		6,966	11,788		
未払法人税等		395	1,295		
賞与引当金		1,032	1,403		
返品調整引当金		572	734		
売上割戻引当金		403	416		
その他		3,085	3,464		
固定負債		4,699	5,308		
長期借入金		1,505	1,722		
退職給付引当金		2,915	3,302		
役員退職慰労引当金		179	156		
その他		99	127		
負債合計		25,298	33,343		
[少数株主持分]					
少数株主持分					
[資本の部]					
資本金		6,593	6,593		
資本準備金		5,397	5,397		
連結剰余金		17,954	17,316		
その他有価証券評価差額金		97			
自己株式		116	0		
資本合計		29,730	29,306		
負債、少数株主持分及び資本合計		55,029	62,650		

財務体質の健全化をはかるため売上債権の流動化を主体に借入金を返済し、総資産を圧縮(76億21百万円)しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
売上高		53,837	55,766
売上原価		25,508	25,392
返品調整引当金戻入(繰入)額		162	300
売上総利益		28,492	30,073
販売費及び一般管理費		24,347	23,554
営業利益		4,144	6,519
営業外収益		186	318
受取利息		3	10
受取配当金		15	46
有価証券売却益		15	130
受取手数料		86	77
その他		66	53
営業外費用		406	432
支払利息		126	185
有価証券評価損		193	237
為替差損		58	
その他		26	9
経常利益		3,924	6,405
特別利益		114	753
固定資産売却益			0
退職給付信託設定益		114	752
特別損失		1,041	4,252
固定資産売却損		1	5
固定資産除却損		28	73
固定資産評価損		951	56
退職給付会計基準変更時差異			3,853
貸倒引当金繰入額		20	28
その他		39	234
税金等調整前当期純利益		2,997	2,906
法人税、住民税及び事業税		1,375	2,892
法人税等調整額		172	1,351
当期純利益		1,449	1,365

当期において投資有価証券の減損処理を9億51百万円実施しました。

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
連結剰余金期首残高		17,316	16,822
連結剰余金減少高		811	870
配当金		772	772
役員賞与		39	40
連結子会社増加に伴う剰余金減少額			57
当期純利益		1,449	1,365
連結剰余金期末残高		17,954	17,316

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,243	2,047
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,575	1,988
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,924	128
現金及び現金同等物に係る換算差額			
現金及び現金同等物の減少額		256	69
連結子会社の増加に伴う現金及び現金同等物増加高			61
現金及び現金同等物の期首残高		1,933	1,942
現金及び現金同等物の期末残高		1,677	1,933

財務諸表(単体)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成14年 3月31日現在	平成13年 3月31日現在
[資産の部]			
流動資産		33,835	40,826
現金及び預金		1,663	1,929
受取手形		1,942	3,013
売掛金		21,670	27,280
有価証券		1,059	835
製品及び商品		2,739	2,876
半製品及び仕掛品		1,224	802
原材料及び貯蔵品		1,180	1,533
未着品		563	473
前渡金		381	419
前払費用		132	99
繰延税金資産		527	670
デリバティブ		668	526
その他の流動資産		185	436
貸倒引当金		103	70
固定資産		19,241	19,963
有形固定資産		14,073	14,295
建物		4,779	4,845
構築物		277	300
機械装置		695	785
車両運搬具		8	10
工具器具備品		278	288
土地		8,034	8,034
建設仮勘定			31
無形固定資産		200	182
特許実施権		59	33
ソフトウェア		117	121
その他の無形固定資産		24	27
投資等		4,967	5,484
投資有価証券		1,341	2,079
出資金		536	513
繰延税金資産		1,689	1,634
敷金及び保証金		641	616
その他の投資		884	725
貸倒引当金		126	85
資産合計		53,077	60,789

科目	期別	当期	前期
		平成14年 3月31日現在	平成13年 3月31日現在
[負債の部]			
流動負債		20,231	27,798
支払手形		4,685	4,559
買掛金		3,430	4,349
短期借入金		6,750	11,200
1年以内返済予定の長期借入金		84	456
未払金		1,761	1,821
未払費用		273	845
未払法人税等		321	1,265
未払消費税等		141	103
預り金		103	112
賞与引当金		1,018	1,389
返品調整引当金		572	734
売上割戻引当金		403	416
繰延ヘッジ利益		668	526
その他の流動負債		16	16
固定負債		3,149	3,625
長期借入金		59	143
退職給付引当金		2,915	3,302
役員退職慰労引当金		174	152
その他の固定負債		0	27
負債合計		23,380	31,424
[資本の部]			
資本金		6,593	6,593
法定準備金		7,045	7,045
資本準備金		5,397	5,397
利益準備金		1,648	1,648
剰余金		16,272	15,725
任意積立金		13,459	12,959
別途積立金		13,459	12,959
当期末処分利益 (うち当期利益)		2,813 (1,358)	2,766 (1,438)
評価差額金		98	
自己株式		116	
資本合計		29,696	29,364
負債及び資本合計		53,077	60,789

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
[経常損益の部]			
営業損益の部			
営業収益		53,052	55,107
売上高		53,052	55,107
営業費用		49,174	48,762
売上原価		25,156	25,102
返品調整引当金繰入額			300
返品調整引当金戻入額		162	
販売費及び一般管理費		24,180	23,360
営業利益		3,878	6,344
営業外損益の部			
営業外収益		233	367
受取利息及び配当金		54	93
有価証券売却益		15	130
その他の営業外収益		163	143
営業外費用		373	398
支払利息		95	151
有価証券評価損		193	237
為替差損		58	
その他の営業外費用		25	9
経常利益		3,738	6,313
[特別損益の部]			
特別利益		114	914
固定資産売却益			161
退職給付信託設定益		114	752
特別損失		1,040	4,227
固定資産売却損		1	46
固定資産除却損		28	55
固定資産評価損		950	14
退職給付会計基準変更時差異			3,853
貸倒引当金繰入額		20	25
その他の特別損失		39	231
税引前当期利益		2,811	3,000
法人税、住民税及び事業税		1,294	2,862
法人税等調整額		158	1,300
当期利益		1,358	1,438
前期繰越利益		1,840	1,714
中間配当額		386	386
当期末処分利益		2,813	2,766

利益処分

(単位:円)

科目	期別	当期	前期
当期末処分利益		2,813,282,019	2,766,371,845
これを次のとおり処分いたします。			
利益配当金		385,437,816 (1株につき8円)	386,313,880 (1株につき8円)
役員賞与金 (うち監査役賞与金)		()	39,300,000 (4,650,000)
任意積立金			
別途積立金		500,000,000	500,000,000
次期繰越利益		1,927,844,203	1,840,757,965

- (注) 1. 平成12年12月11日に386,297,624円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。
 2. 平成13年12月10日に386,312,144円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。
 3. 利益配当金は自己株式(当期110,446株、前期938株)を除いて計算しております。

項目	第44期 H10/3	第45期 H11/3	第46期 H12/3	第47期 H13/3	第48期 H14/3
売上高 (百万円)	54,279	54,873	56,183	55,766	53,837
経常利益 (百万円)	4,883	5,832	6,124	6,405	3,924
当期純利益 (百万円)	2,016	2,714	3,111	1,365	1,449
総資産 (百万円)	51,338	54,680	56,566	62,650	55,029
株主資本 (百万円)	23,918	25,917	28,811	29,306	29,730
株主資本利益率 (ROE) (%)	8.7	10.9	11.4	4.7	4.9
売上高経常利益率 (%)	9.0	10.6	10.9	11.5	7.3
売上高当期純利益率 (%)	3.7	4.9	5.5	2.4	2.7
総資本経常利益率 (%)	9.2	11.0	11.0	10.7	6.7
株主資本比率 (%)	46.6	47.4	50.9	46.8	54.0
1株当たり当期純利益 (円)	45.79	56.78	64.27	28.28	30.03
1株当たり株主資本 (円)	543.28	535.24	596.65	606.90	617.07

連結子会社 2社

ゼリアヘルスウエイ株式会社

売上高 30億37百万円

資本金 12百万円 (持株比率100%)

事業内容 健康食品の仕入・販売

株式会社ゼービス

売上高 6億20百万円

資本金 1億80百万円 (持株比率100%)

事業内容 保険代理業・不動産業等

会社情報 (平成14年3月31日現在)

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,266名
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、 販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、 衛生雑貨、医療用具の製造、 販売及び輸出入

役員

代表取締役社長	伊部 幸 顕
専務取締役	林 田 雅 博
専務取締役	佐々木 耕 治
常務取締役	徳 田 直三郎
取締役	大 野 晃
取締役	稲 垣 哲 也
取締役	福 山 厚
取締役	株 橋 春 樹
取締役	長 江 晴 男
取締役	猪 口 博 明
取締役	吉 田 泰 久
取締役	菅 幹 雄
常勤監査役	浜 野 峻 至
常勤監査役	田 中 辰 幸
監査役	伊 藤 喜一郎

事業所

本社	東京都中央区
札幌支店	札幌市
仙台支店	仙台市
東京支店	東京都中央区
横浜営業所	横浜市
埼玉営業所	さいたま市
千葉営業所	千葉市
北関東営業所	水戸市
関越営業所	新潟市
甲信営業所	松本市
名古屋支店	名古屋市
静岡営業所	静岡市
大阪支店	吹田市
大阪第二営業所	堺市
神戸営業所	神戸市
京都営業所	京都市
金沢営業所	金沢市
中四国支店	広島市
岡山営業所	岡山市
高松営業所	高松市
福岡支店	福岡市
中央研究所	埼玉県大里郡
埼玉工場	埼玉県大里郡
筑波工場	茨城県牛久市
東京物流センター	埼玉県川口市
札幌物流センター	札幌市
埼玉物流センター	埼玉県大里郡
大阪物流センター	大阪府大東市
出張所	
連絡所	青森・郡山・松山・長崎・鹿児島・沖縄
	宇都宮・高崎・富山・津・米子・山口・高知・徳島・大分・熊本

株式情報 (平成14年3月31日現在)

株式の状況

会社が発行する株式の総数	119,860,000株
発行済株式の総数	48,290,173株
株主数	4,066名

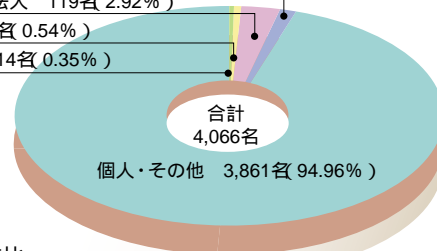
大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	5,600,770	11.5	-	-
ロザラード株式会社	3,601,079	7.4	-	-
株式会社UFJ銀行	2,304,045	4.7	-	-
ゼリア新薬工業従業員持株会	2,123,417	4.3	-	-
サントリー株式会社	1,980,000	4.1	-	-
森永乳業株式会社	1,854,741	3.8	1,596	0.0
伊部 幸頭	1,387,425	2.8	-	-
株式会社三井住友銀行	1,278,301	2.6	600	0.0
中央三井信託銀行株式会社	1,207,907	2.5	-	-
三菱信託銀行株式会社	967,907	2.0	-	0.0

所有者別株式分布状況

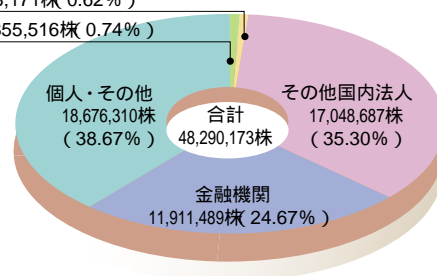
株主数構成比

金融機関	50名(1.23%)
その他国内法人	119名(2.92%)
外国人	22名(0.54%)
証券会社	14名(0.35%)
合計	4,066名

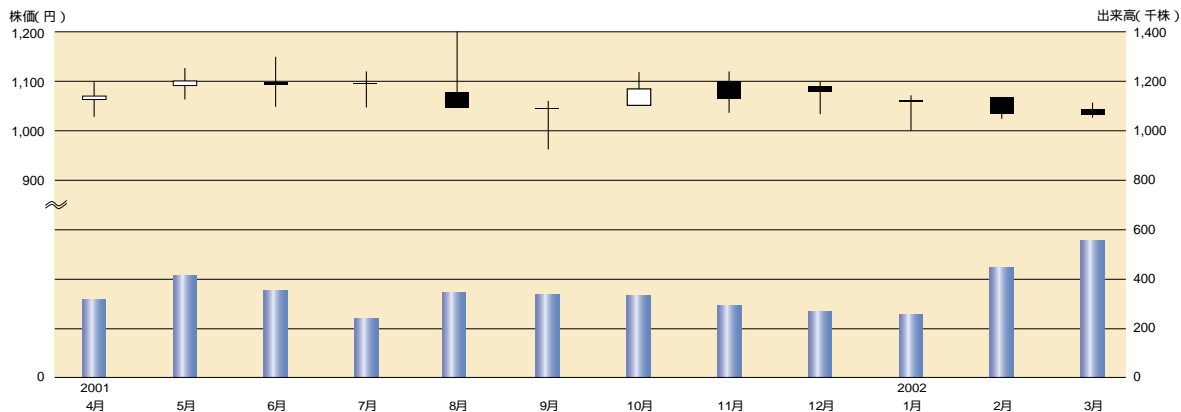


株式数構成比

外国人	298,171株(0.62%)
証券会社	355,516株(0.74%)
個人・その他	18,676,310株(38.67%)
その他国内法人	17,048,687株(35.30%)
金融機関	11,911,489株(24.67%)
合計	48,290,173株



株価および出来高の推移



株主メモ

決算期	3月31日
利益配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、商法特例法第16条第3項に定め る貸借対照表および損益計算書に係る情 報は、当社ホームページ http://www.zeria.co.jp/kessan/index.html において提供します。
名義書換代理人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社証券代行部 03-3323-7111(代)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
証券コード	4559

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指
定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル
0120-87-2031で24時間受付しております。

最新のIR情報は
当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp>



当社ではスピーディに正確な情報をご提供す
るため、ホームページを開設しております。
株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新の
ニュースまで幅広い内容となっておりますの
で、ぜひ一度、ご覧ください。



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp/>